



# とねっと協議会だより VOL.15

【参加施設数】106（中核施設11、病院・診療所90、検査施設5） 【参加住民数】30,277人（1月31日現在）

発行日／平成30年2月14日 発行／埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会事務局  
電話番号／0480(63)0003 FAX／0480(63)0033 URL／<http://www.saitama-tonet.jp>

平成30年1月30日(火)に第16回臨時総会を開催しました。総会では3項目の報告とともに、次の5項目の議題について協議が行われました。

## 1「とねっと」の利用者の拡大範囲(案)を議決

平成30年度からの新システムの中で、在宅医療介護連携や医療情報の双方向化を進めていくことから、利用者の範囲の拡大について、議決されました。

### ○「とねっと」システム利用者

歯科医療機関（歯科医師）、調剤薬局（薬剤師）を新たに追加

○MCSから「とねっと」システムのうち健康情報への参照利用者

医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネ、看護師、保健師など（各医師会・構成団体で定める職種）

## 2 歯科医療機関・調剤薬局の「とねっと」参加負担金(案)を議決

歯科医療機関、調剤薬局の「とねっと」への参加を受け、参加負担金について議決されました。

医療機関（病院・診療所）と利用する環境に相違がなく、また、「とねっと」へ参加しやすくなることから、歯科医療機関、調剤薬局とも10,000円（年額）となりました。（診療所と同額）

## 3 歯科医療機関(歯科医師会)、調剤薬局(薬剤師会)の協議会等への委員としての参画(案)を議決

協議会委員、作業部会員の構成員に歯科医師会、薬剤師会の各代表者が加わりました。（平成30年1月30日施行）

### ○協議会委員

#### 【歯科医師会】

北埼玉歯科医師会長 野本 幸弘 氏  
埼玉葛歯科医師会長 儘田 省吾 氏

#### 【薬剤師会】

加須市薬剤師会長 渡辺 英治 氏  
羽生市薬剤師会長 豊田 和広 氏  
久喜白岡薬剤師会長 池上 栄一 氏  
幸手薬剤師会長 関谷 陽子 氏

### ○作業部会員

上記各会長へ選任を依頼

## 4 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会規程の一部改正(案)を議決

上記3を受け、協議会規程の一部改正が議決されました。（平成30年1月30日施行）

## 5 システム更新前後の機能改善の内容等(案)について

「とねっと」は、平成30年4月から、住民や医療機関の皆様にとって「診療に役立つ有益なシステム」、「使いやすいシステム」へ改善します。

### ◆◆◆平成30年度からのシステム更新の改善項目◆◆◆

#### ① I T 診療報酬加算への設備対応

- ・通信回線や医療情報の暗号化、電子的な送受の記録
- ・SS-MIX仕様からSS-MIX 2仕様へ
- ・診療情報提供書等の文書作成時にHPKI（医師の認証）の設定

#### ②病院・診療所では自院のノートパソコン又はタブレット化で対応（端末の小型化）

#### ③中核病院と病院・診療所との医療情報の双方向化

- ・病院・診療所からは、連携している調剤薬局を通じての情報自動連携
- ・スマートフォンで調剤レセコンからの処方QRコードを読み込み、処方内容を登録・参照可能

#### ④中核病院での複数の診療科での情報共有

- ・院内での電子カルテ等を活用した医療情報の共有

#### ⑤在宅医療介護連携システム（MCS）との連結（MCSの単独での使用可）

- ・「とねっと」と「MCS」は、健康記録上で相互参照が可能
- ・新たに訪問歯科医・薬局（薬剤師）、看護師、ケアマネなどの参加により情報共有が可能（多職種連携）

#### ⑥参加医療機関の増

- ・中核病院は、県立小児医療センターなど13医療機関を目標
- ・病院・診療所は、200医療機関を目標
- ・新たに歯科医療機関、調剤薬局の参加

#### ⑦臨床検査施設の増

- ・臨床検査施設を通じての情報自動連携
- ・参加臨床検査施設数は、7施設を目標

#### ⑧カラーでシンプルな画面構成

- ・中核病院、診療所の医療機関からの画面の見やすさ

#### ⑨画面アクセスのスピードアップ化

- ・参照スピードは原則3秒以内

#### ⑩ICカード運用による利便性の向上

- ・かかりつけ医カードIDをICチップに登録し、医療機関における「紐づけ」の操作負担の軽減や救急搬送時の迅速な参照

#### ⑪健康記録情報の入出力 ほか

- ・かかりつけ医の情報共有などに加え、住民自身が利用する外部ヘルスケアサービスからの情報の自動入出力

※裏面に新「とねっと」ABCDEを掲載

「とねっと」が生まれ変わります

## 新とねっと

システム更新に伴う改善点の **A B C D E**

### **A** : Access の改善

自院のパソコン端末など診察デスクから Access 可能

### **B** : Benefit の改善

診療報酬加算に対応しており、Benefit (利益) アップ

### **C** : Card の改善

とねっと Card が IC 化され、紐付けが簡単に

### **D** : Data の双方向性

処方や調剤 data が、診療所や調剤薬局からも収集

### **E** : Efficient 効果的な情報共有

MCS との連結で、医療・介護の efficient な情報共有化